

誰もが参加できる“市民による市民のための映像祭”

— Tokyo Video Festival for all the people —

「東京ビデオフェスティバル 2022」開催決定、作品募集を開始

- プロ・アマ不問、ジャンル／テーマ自由、20分以内のオリジナル作品を募集（締切：11月30日^{※1}）
- 全応募作品を Web 公開^{※2}！全ての作者が映像ファンに作品をアピールできるオープンな映像祭
- グランプリの「ビデオ大賞」は「TVF2022 フォーラム」(2022年3月中旬開催予定)で行う公開審査にて決定
- 審査委員：映画評論家・村山匡一郎氏、**新起用**ビデオ作家・津野敬子氏、代表理事・小林はくどう、理事・佐藤博昭

特定非営利活動（NPO）法人市民がつくる TVF（代表理事：小林はくどう）は、誰もが参加できる“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2022」（TVF2022）の開催を決定し、2021年7月1日より、作品募集を開始します。（募集締切：2021年11月30日^{※1}）。

「皆が語り合える社会、それが映像の役割だ！」をコンセプトに、生きる元気が湧いてくる作品、社会に訴える作品、自分の思いを語る作品、表現力に挑んだ作品など、力作をお待ちします。

※1：「東京ビデオフェスティバル」では、映像作品を通年で募集しています。「TVF2022」の締め切り後（2021年12月1日以降）に応募された作品は、次回の「東京ビデオフェスティバル 2023」（TVF2023）へのエントリーとなります。

＜「東京ビデオフェスティバル 2022」（TVF2022）の特徴＞

1. プロ・アマ不問、作品ジャンル／テーマ自由、20分以内のオリジナル作品を募集（締切：11月30日^{※1}）
作品は、年齢・性別、プロ・アマ、国内外を問わず、幅広く募集します。20分以内のオリジナル映像作品であれば、ジャンル／テーマ、題材は自由。“誰もが参加できる映像祭”です。
2. 全応募作品を Web 公開^{※2}！ 全ての作者が映像ファンに作品をアピールできるオープンな映像祭
オープンな映像祭である「TVF2022」では、応募作品は全て Web 公開^{※2}します。Web 公開中の応募作品は、当 NPO 法人の公式ホームページから視聴可能（予定）。全ての作者が、自分の作品を、あまたの映像ファンにアピールできる機会です。
3. グランプリの「ビデオ大賞」は「TVF2022 フォーラム」(2022年3月中旬開催予定)で行う公開審査にて決定
今開催を象徴する作品に贈られるグランプリ「ビデオ大賞」（1作品。「TVF2022 アワード^{※3}」から選出）は、2022年3月中旬に開催予定の「TVF2022 フォーラム」の当日、入賞者や映像ファンが集う会場にて、審査委員による公開審査で決定し、発表・上映・表彰する予定です。

※2：TVF 事務局が Web 公開に適さないと判断した場合は非公開とし、エントリーを拒否もしくは取り消すことがあります。

※3：「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から複数、選出されます。選出数は未定。応募状況に応じて決定します。

4. 審査委員：映画評論家・村山匡一郎氏、**新起用**ビデオ作家・津野敬子氏、代表理事・小林はくどう、理事・佐藤博昭
今回の審査委員は、米ニューヨークでビデオ作家や非営利組織 DCTV の共同代表として活躍されている津野敬子氏を新たに起用し、映画評論家の村山匡一郎氏、当 NPO 法人代表理事・小林はくどう、同理事・佐藤博昭の 4 名で組織します。「TVF2022 フォーラム」にて行われる公開審査（上述）やトークフォーラムを通じて、「東京ビデオフェスティバル」が誇る審査委員から作品の評価を受けられるチャンスです。

●新審査委員 津野敬子氏（ビデオ作家・DCTV 共同代表） 略歴

1944 年、東京生まれ。多摩美術大学卒業後、1967 年にニューヨークに留学。1971 年にジョン・アルパート氏と結婚。翌年、夫のアルパート氏と共にビデオ制作と市民活動のための非営利組織 Downtown Community Television Center (DCTV) を設立。現在もアルパート氏と DCTV の共同代表を務める。ドキュメンタリー作品「THIRD AVENUE：ONLY THE STRONG SURVIVE」は、「第 3 回東京ビデオフェスティバル」（1980 年開催）のビデオ大賞、およびアメリカの「エミー賞」の撮影賞・編集賞を受賞している。

5. 特別賞として「TVF ジャーナリズム賞」「市民賞」を選出

特別賞（2 部門・各 1 作品）として、「TVF2022 アワード^{※3}」受賞作品の中から、TVF ジャーナリズム賞 専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品に贈られる「TVF ジャーナリズム賞」と、Web サイトで公開された全応募作品の中から TVF サポーター会員（賛助会員）^{※4}、および「TVF2022」の作品応募者の審査投票によって選出される「市民賞」を設置します。受賞作品は、「TVF2022 フォーラム」の当日、発表します。

※4：TVF サポーター会員は随時、受け付けています。詳しくは当 NPO 法人ホームページをご参照ください。

6. 好評の個別作品講評を実施！映像制作力・映像表現力アップをサポート（有料）

これまで好評にいただいている個別作品講評（有料・1 作品につき 3,000 円（税込）^{※5}）を実施。希望者を対象に受け付け、映像制作力や映像表現力のアップをサポートします。応募作品ごと^{※6}に評価・コメントを行いますので“あなただけの作品講評”を受けられます。

※5：サポーターは、1 作品のみ無料。

※6：「TVF2021」に応募をせずに、個別作品講評だけを申し込むことも可能です。

詳細は、公式ホームページ（NPO ホームページ）をご参照ください。

<「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPO ホームページ）URL>

<https://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50 音順・敬称略）

小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授）

佐藤 博昭（ビデオ作家・武蔵大学 講師）

津野 敬子（ビデオ作家・DCTV 共同代表） *新起用

村山 匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）

羽仁 進（映画監督）

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

- 神保 哲生（ビデオジャーナリスト）
- 筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）
- 長野 智子（キャスター）
- 下村 健一（市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授）

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」
「TVF2022 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。
- ・「TVF2022 アワード」
「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。
- ・「TVF ジャーナリズム賞」
特別賞。「TVF2022 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。
- ・「市民賞」
特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2022」の作品応募者の審査投票により選出されます。

■「東京ビデオフェスティバル 2022」スケジュール（予定）>

- ・作品募集締切 : 2021年11月30日(月)
- ・「TVF2022 アワード」発表 : 2022年1月
- ・「TVF2022 フォーラム」開催 : 2022年3月中旬
- ・「ビデオ大賞」決定・発表 : 「TVF2022 フォーラム」の公開審査にて
- ・「特別賞」発表 : 「TVF2022 フォーラム」にて

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、32 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル (TVF)」(日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来、継続開催している映像祭で、今回で通算 44 回目を迎えます。なお、当 NPO 法人の主催となってから今年で 13 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

* 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。